

脂質異常症とは？

中性脂肪やコレステロールなど、血液中の脂質の値が基準値から外れた状態を指します。
脂質異常症は動脈硬化の主要な危険因子であり、放置すると脳梗塞や心筋梗塞などの動脈硬化性疾患をまねく原因となります。

脂質の種類による分類

高LDL コレステロール血症

LDL(悪玉)コレステロールが多い

低HDL コレステロール血症

HDL(善玉)コレステロールが少ない

高トリグリセライド血症 (高中性脂肪血症)

トリグリセライド(中性脂肪)が多い

成因による分類

原発性脂質異常症

生活習慣の乱れや、「家族性高コレステロール血症」
といった遺伝によるもの

続発性脂質異常症

他の疾患(肥満、糖尿病、腎疾患、内分泌疾患、肝疾患など)や、
薬剤使用で起こるもの

参考:厚生労働省 e-ヘルスネット 脂質異常症(2022年7月現在) (<https://www.e-healthnet.mhlw.go.jp/information/metabolic/m-05-004.html>)

【監修】医薬情報研究所/株式会社エス・アイ・シー、公園前薬局(東京都)薬剤師 堀 美智子 先生